

プラン・ユースグループ

# 2023-2024年 活動報告書



**PLAN YOUTH GROUP**  
for Plan International

2024年8月

# 目次

## 1. Introduction

- 1.1. プラン・ユースグループとは
- 1.2. プラン・ユースグループの 2023-2024

## 2. ユースグループ全体の活動

- 2.1. 若者団体の合宿参加
- 2.2. YAP ALLの開催

## 3. アドバイザリーの活動

- 3.1. 組織意思決定への参画
- 3.2. 国内支援事業
- 3.3. マーケティング・コミュニケーション部との連携
- 3.4. 海外のユースとの交流
- 3.5. 支援者との交流
- 3.6. わたカフェの移転および事務所リフォームに関するアドバイジング

## 4. アドボカシーの活動

- 4.1. 『もやもや燃やそう！』企画の実施
- 4.2. SNSによる広報・発信
- 4.3. 外部ユース向け勉強会
- 4.4. その他

# 1. Introduction

## 1.1. プラン・ユースグループとは

国際 NGO プラン・インターナショナルは、女の子が本来持つ力を引き出すことで地域社会に前向きな変化をもたらし、世界が直面する課題解決に世界 80カ国以上で取り組んでいます。2013 年より、若者の組織における意思決定への参画がグローバルで謳われるようになり、2014 年に日本のプラン・インターナショナルにもユースグループが設置されました。

プラン・ユースグループの活動は、大きくアドバイザーチームとアドボカシーチームの 2 つに分かれています。アドバイザーチームでは主に、プランの理事会や役員定例会への出席など組織意思決定への参画のほか、国内支援事業へのアドバイジング、部署との連携、海外ユースグループとの交流の実施をしています。アドボカシーチームは、プランのアドボカシーグループと協働しており、主に、若者のジェンダー観などに関する調査やそれに基づく提言活動、イベント開催や SNS による啓発活動を実施しています。

## 1.2. プラン・ユースグループの2023-2024

	アドバイザー	アドボカシー
2023年 7 月	<ul style="list-style-type: none"><li>事務局によるオリエンテーション</li><li>年間目標決め</li><li>役員定例会参加</li><li>事務局職員アンケート結果報告</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>クリエイティブチーム、中島梨乃さんをお呼びした企画立案のためのブレインストーミング</li><li>愛知サマーセミナー2023にてワークショップ実施</li></ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"><li>事務局長とのミーティング</li><li>理事会事前インプット</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>2023年度のルッキズム調査を元にしたオンラインイベント</li><li>SRHRスタンディングアクション参加</li></ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"><li>理事会参加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ジェンダー短歌作成</li></ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"><li>事務局長とのミーティング</li><li>カルロス理事とのミーティング</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>「ガールズ・リーダーシップ」院内集会参加</li></ul>
11月		<ul style="list-style-type: none"><li>法政大学でジェンダーワークショップ（ジェンダーもやもや収集）</li><li>Googleフォームでもやもや募集</li><li>オンラインイベント「さっこ先生に聞く！包括的性教育とは？」を開催 (<a href="https://www.instagram.com/p/C0IsHtWv4DK/?igsh=MXB4cWp2dGNvZ21pcQ">https://www.instagram.com/p/C0IsHtWv4DK/?igsh=MXB4cWp2dGNvZ21pcQ</a>)</li><li>ジェンダー短歌をSNS公開</li></ul>

12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内支援事業担当職員とのミーティング</li> <li>● 若者団体イベント参加</li> <li>● プラン日本事務局の懇親会参加</li> <li>● 事務局長とのミーティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もやもや4コマ漫画エピソード作り</li> <li>● 令和5年度男女共同参画推進フォーラムで「話してみよう!『生理』のこと」を開催</li> <li>● オンラインイベント「痴漢抑止バッジデザインコンテスト主催者と考える痴漢抑止」を開催 (<a href="https://www.instagram.com/p/C2t9f9ov2GG/?igsh=c2c2OW42ZmFmdjdj">https://www.instagram.com/p/C2t9f9ov2GG/?igsh=c2c2OW42ZmFmdjdj</a>)</li> </ul>
2024年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● わたカフェの移転および事務所リフォームに関するアドバイジング開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オンラインイベント「かずえちゃんと考えよう性の多様性と、これから」を開催 (<a href="https://www.instagram.com/p/C5F7HoNP9rA/?igsh=MTlvMHgxaXFyaTBkeA">https://www.instagram.com/p/C5F7HoNP9rA/?igsh=MTlvMHgxaXFyaTBkeA</a>)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事務局長のとミーティング</li> <li>● アメリカのユースグループとの交流</li> <li>● Plan Thai Officeを訪問</li> <li>● マーケティング・コミュニケーション部とのミーティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もやもや展示会準備</li> <li>● オンラインイベント「ジェンダー視点から見たパートナーシップ～対等な関係を築くためには?～」を開催 (<a href="https://www.instagram.com/p/C5QNfTMvx4/?igsh=Mjl1NG1iMG02bmM5">https://www.instagram.com/p/C5QNfTMvx4/?igsh=Mjl1NG1iMG02bmM5</a>)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 支援者の会交流立案</li> <li>● 事務局主催PLAN MOVEMENTローンチイベント参加</li> <li>● 臨時理事会・役員定例会参加</li> <li>● わたカフェ訪問</li> <li>● わたカフェ潜入調査実施</li> <li>● インドネシアのユースグループと交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もやもや展示会準備</li> </ul>
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 支援者の会との交流に向けたリレーション開発部とのミーティング</li> <li>● わたカフェの移転および事務所リフォームに関するアドバイジング(物件内見参加)</li> <li>● 支援者の会・千葉の部との交流</li> <li>● 事務局長とのミーティング</li> <li>● 新規メンバー採用説明会・選考</li> <li>● 事務局主催国際ICTガールズデーイベント登壇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ジェンダーもやもや燃やそう!企画展」@明治学院大学横浜校舎、白金校舎</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新メンバー加入</li> <li>● オリエンテーション開始</li> <li>● 理事会参加</li> <li>● ウニ・クリシュナン氏(国際人道ディレクター)との対談</li> <li>● わたカフェの移転および事務所リフォームに関するアドバイジング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新メンバー加入</li> <li>● 「ジェンダーもやもや燃やそう!企画展」@聖心女子大学、東京大学</li> <li>● 「アルテイシアさんともやもや燃やそう!」イベント(ゲスト:アルテイシア氏) (<a href="https://www.instagram.com/p/C8eSOnCPkCE/?igsh=aDdxMXoybnZ1NG9r">https://www.instagram.com/p/C8eSOnCPkCE/?igsh=aDdxMXoybnZ1NG9r</a>)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事務局長とのミーティング</li> <li>● 支援者の会の集い参加</li> <li>● フォレストコンソーシアム参加</li> <li>● FY25全体目標決め</li> </ul>	

## 2. ユースグループ全体の活動

### 2.1. 若者団体の合宿参加

2023年12月に様々な分野で活動する若者の団体が集まる合同合宿に参加しました。合同合宿は一般社団法人日本若者協議会による主催で、15の団体から代表など約40名が参加しました。プラン・ユースグループからはアドボカシーから1名、アドバイザーから2名の計3名が代表して出席し、他団体と各テーマに関する勉強や意見交換をしたほか、運営・活動のノウハウ共有をしました。プラン・ユースグループは「アドボカシーの実践方法」というトピックで登壇し、アドボカシーチームがこれまで培ってきた知識や経験をもとにパネルディスカッションを行いました。今回の合宿を機に、団体間のネットワークを生かすために共通の連絡媒体としてSlackのグループが作成され、告知や相談に活用されています。



若者団体合同合宿の様子。2日間にわたって活発に意見交換がされました。

### 2.2. YAP ALL の開催

今年度はアドバイザーとアドボカシーの合同ミーティング、通称YAP ALLを2023年9月、2024年3月、5月に開催しました。YAP ALLでは各チームの活動報告の他、9月と3月には海外事務局を訪問したユースメンバーによる報告もなされ、それぞれコロンビアとタイのプラン事務局の見学や現地の活動について共有しました。5月には本年度をもってユースグループを卒業するメンバーを中心に交流会を行い、メンバーのみならず事務局長や事務局で関わりの深かった職員からもこれまでの活動に対する労いの言葉が送られました。今年度は3回開催したYAP ALLのうち、2回はオンラインと対面のハイブリット方式で行われたこともあり、一層チームの垣根を超えてメンバー間の関係性を深める機会となりました。

# 3. アドバイザリーの活動

## 4. アドバイザリーの活動

### 3.1. 組織意思決定への参画

グローバルで組織の意思決定への若者の参画が謳われるようになり、2014年にユースグループが日本のプラン・インターナショナルに設置されました。プラン・インターナショナルのアドバイザー担当に求められることは、理事会や役員定例会に出席し、ユース世代の意見や感覚を組織の事業推進や経営・運営に関わる課題に反映させることです。今年度は、理事会と役員定例会へそれぞれ3回ずつ参加し、収支予算や事業内容、グローバル総会への参加活動報告などに対し、ユース目線で質問・意見を述べました。今年度は、理事会・役員定例会の前に職員を招いた議題に関する勉強会に加え、ユース内でも事前ディスカッションを実施したことで、自信を持ってユースの声を届けることができました。また、役員定例会では2度ユースグループの活動報告を行い、役員から活動に対するフィードバックを受けました。

さらに、今年度も元プラン・ユースグループメンバーのカルロス理事は現役ユースメンバーと共に理事会に若い世代の視点をプランの経営に反映させました。組織意思決定の場におけるユースの発言のみならず、役員の間でも活発にユースにまつわる話題がのぼるなど、組織内でユースの存在感を強く発揮できた一年になりました。

### 3.2. 国内支援事業

2023年1月より本格稼働した国内支援事業に対して、引き続きアドバイジングを行いました。2ヶ月に1回の定例ミーティングでは、国内支援事業のメインである「わたカフェ」について、利用状況や相談事例などを共有いただき、気になる点を深掘りしたり、身近な事例と照らし合わせて考察を伝えたりするなど、ディスカッションを行いました。また、「ユースの視点から意見がほしい」と職員の方から質問・相談を受け、メンバーそれぞれの経験や考えを共有することもありました。

3月にはアドバイザーメンバー全員で「わたカフェ」に訪問することができ(利用時間外)、どのような空間でどのような工夫をしながら支援が行われているかを具体的にイメージすることができました。空間の使い方やインテリア、本・マンガや無料配布物資などのレパトリーへの追加提案、空間づくり・支援におけるたくさんの小さな工夫について感じたことを率直に伝えるなど、実際に利用される方の立場に立って、「わたカフェ」がよりよい事業となるように意見交換をしました。



わたカフェ訪問時の様子。現場の見学のほかに国内支援事業の担当職員との定例ミーティングも行いました。

### 3.3. マーケティング・コミュニケーション部との連携

2024年2月ごろから現在まで、マーケティング・コミュニケーション部(以下、マーコム部)との窓口担当者を設置し、連携を強化してきました。2月から6月にかけては主に4月25日に開催された「国際ICTガールズ・デーイベント」に向けたイベントコンテンツへのインプット、広報協力、当日運営(司会)等に携わりました。また、3月8日のPlan Movementのプレスリリースイベントにおける参加者へのインタビューも行いました。現在は主に、10月11日の「国際ガールズ・デーイベント」に向けて、ゲストスピーカーの選定などの協力をしています。

今後の課題として、ユースメンバーの側からも積極的にマーコム部とのさらなる連携の機会を探ることが挙げられます。具体的には、プランの新たなWebページ内にあるGirl's Labのコンテンツに関するアドバイジングやPlan Movementをはじめとするイベントへの企画段階からの意思決定プロセスへの更なる参画などが考えられます。



© プラン・インターナショナル



© プラン・インターナショナル

国際ICTガールズ・デーイベント「リケジョなんて言葉がなくなる日まで～ICT分野におけるジェンダー・ギャップ解消のために」の様子。右はユースメンバーによる登壇、左は企業によるトークセッション。

### 3.4. 海外のユースとの交流

今年度のアドバイザーチームの目標の一つに「プランに関わる人との連携を築く」を掲げており、アメリカ、タイ、インドネシアの3カ国のPlan Internationalに所属するユースグループとの交流がありました。

2024年2月には、Plan International USAに所属するユースメンバーと日本のアドバイザーメンバー2名がオンラインで交流を行いました。アメリカのユースグループは、一般高校生向けのキャンプを実施していました。

2024年3月にPlan International Indonesiaに所属するYouth Advisory Panel (YAP)とYouth Activist Series (YAS)のメンバー、職員の方とオンラインで交流を行いました。主にユースグループの活動状況、アドバイジングに関する悩みなどを共有し、お互いに良い刺激を与えることができました。インドネシアと日本のユースメンバーが同じ大学に通っていることから、交流を開始し、今後どのような関わり方ができるかを検討しています。

また、2月には、タイ・バンコクにあるPLAN BKKを訪問し、日本のユースグループ(主にアドバイザリー活動)について共有し、オフィス見学やユースの活動、アジア太平洋地域での活動を伺いました。最後に、今後アジア地域のユースメンバーでの継続的な交流をするための工夫や関心ある社会問題について話し合いました。国内支援事業の一環であるわたカフェの事業を紹介した際、「日本にこのような状況に置かれた女の子がいることを知らなかった」「衝撃的だった」と意見をもらいました。タイのユースグループは、「若者が直面する健康被害・肥満問題」に対してアクション・リサーチを行っていました。

今後、時差が少ないアジア地域の国々と連携した取り組みが行えることに期待を抱いています。



左はインドネシアのユースと職員との交流。右はアメリカのユースとの交流。

## 3.5. 支援者の会

前項同様、今年度のアドバイザリーチームの目標の一つ「Planに関わる人との連携を築く」を達成するため、これまで交流機会の少なかった支援者の会との交流のための準備を年明けから開始しました。

ユースグループが、支援者の会と交流を深めることでプランを共に盛り上げたいという思いで企画しました。本企画の目的は3つです。一つ目は、ユースグループの認知向上です。プランのファミリーである支援者の会の方の中でも、ユースグループの存在やユースの活動の認知度はとても低いのが現状です。二つ目は、支援者の会の活動を盛り上げることです。若者ならではの意見や行動力を活かし、活動内容や頻度、メンバーの確保に課題を感じている支援者の会のサポーターとなります。三つ目は、プランの支援の輪を広げることです。プランへの熱い思いをお持ちの支援者の会の方々の率直な意見は、今後、より多くの方にプランのファンになってもらうためのヒントになると考えています。

2月に企画書を作成、4月には、支援者の会の方々との交流に先立ち、元千葉の会の皆様に向けユースグループの活動紹介を事務局で実施し、改めて、ユースグループの認知度の低さを痛感しました。6月には、支援者の会の集いにオンラインで参加し、全国の支援者の会の皆様にユースグループとの交流について説明しました。広報の方法や支援者の会の新規メンバーの獲得に苦慮している会が多くありました。

2025年度からは、実際に対面もしくはオンラインにて全国の支援者の会を訪問する予定です。

## 3.6. わたカフェの移転および事務所リフォームに関するアドバイジング

2024年3月より、わたカフェの移転および事務所のリフォームについて、ユースの視点に基づいたアドバイジングを行いました。本件は来年度も継続して行われるもので、今年度は大きく分けて2つの活動を行いました。

1点目はユース視点の希望リストの作成と共有です。職員の方から、わたカフェ移転および事務所リフォームの計画について説明を受けた後、ユース視点で不動産と内装に関する希望事項をリスト化し、2021年度のユースアドバイザーが作成した「サステナビリティレポート」の内容を盛り込んだ提案資料を作成しました。また、事務局が定期的実施しているミーティングにも積極的に参加し、質問や意見交換をすることで情報収集に努めました。

2点目は内見への同行です。ユースメンバーは職員と共に候補となる物件を内見し、物件について意見交換をしました。内見に参加したメンバーは後日アドバイザーの定例ミーティングで報告し、改めてユースメンバー全体の意見をまとめ、事務局側に共有しました。事務局と密に連絡を取り円滑な情報共有に努めたことで、RFP（提案作成依頼書）はユースの意見が反映されたものになりました。

## 4. アドボカシーの活動

### 4.1. 『もやもや燃やそう！』企画の実施

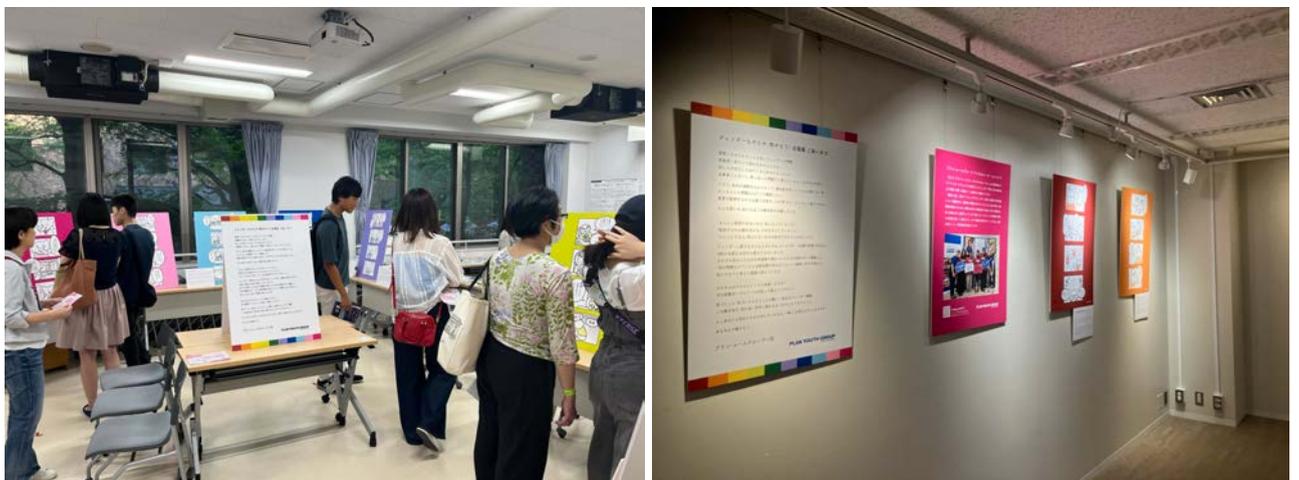
今年度クリエイティブチームでは、「もやもや燃やそう！～教えてくださいあなたのジェンダーもやもや～」と題した一連の企画を行いました。

まず、ユース世代が感じている「ジェンダーや性教育に関して感じているモヤモヤした気持ち」すなわち「もやもや」を、Googleフォームを使ってSNSや対面で募集しました。約160人から回答が集まり、なかでも共感度の高かった「もやもや」を厳選して10個のエピソードに集約し、御茶の水美術専門学校の学生2名の協力を得て4コマ漫画を制作しました。この4コマ漫画を解説パネルと共に展示する「ジェンダーもやもや、燃やそう！4コマ漫画展示会」を、3大学4キャンパス（明治学院大学横浜キャンパス、同白金キャンパス、東京大学本郷キャンパス、聖心女子大学）で行いました。各会場には、どのエピソードに共感したかを問う「投票ボード」や「感想ノート」を設置し反響を測りました。企画の締めくくりとして、ジェンダーに関する発信や活動を続けている作家のアルティシア氏を招いたトークイベントを開催しました。

ジェンダーや性教育の話題は、特にユース世代では「意識が高い」などと遠巻きにされてしまいがちです。そこにアートの要素を入れ込むことで、こうした問題も受け取られやすく、広がりやすくなると考え今回の企画を実施しました。感想ノートには「4コマの中に日常のもやもやがギュッと詰まっていた共感した」「ジェンダーについて考えるとどうしても身構えてしまいがちだが、動物たちの姿を通して私たちの日常を客観視できたように思う」「もやもやをお焚き上げできてよかった」等のコメントがあり、4コマ漫画という形によってより共感を呼ぶことができた様子が伺えます。



投票ボードで特に票を集めていた3作品。それぞれ「ルッキズム」「家事分担」「STEAM」をテーマにしています。



各会場の様子。上段左が明治学院大学横浜キャンパス、右が同白金キャンパス。下段左が東京大学本郷キャンパス、右が聖心女子大学。



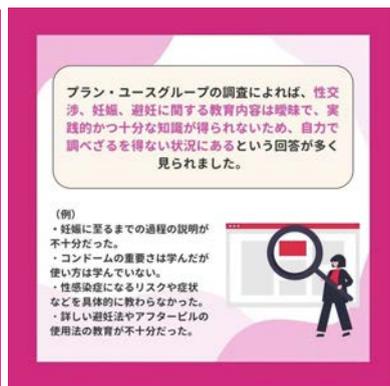
聖心女子大学会場で行われたアルテイシア氏を招いたイベントの様子。オンライン会場も用意しハイブリッドで開催しました。

## 4.2. SNSによる広報・発信

InstagramとX(旧Twitter)を用いて、情報発信・世論喚起を行いました。主な内容としては、包括的性教育を中心とした月別トピック、ジェンダーに関するニュースをもとにした時事トピック、クリエイティブチームとコンテンツチームが企画したイベントの開催告知と報告、国際デーやジェンダーに関する月間に合わせた発信、プラン・インターナショナル主催のイベント発信となります。月別トピックでは、国際セクシュアリティ教育ガイダンスに記載されているコンセプトや、性教育や対等なパートナー関係の構築といったユースがこれまでにこなった調査を紹介しました。他にも、時事トピックでは、災害時の女性の不利益や政治家の失言など、世間で話題になっているニュースに即座に対応することで、投稿の反応を伸ばすことができました。

今年度は、「1人でも多くの方にジェンダー課題やユースの声を届けるためにどうすればよいか」ということを中心に考えてきました。そこで、主にInstagramの運用方法をいくつか改善しました。例えば、これまでのポップで親しみやすいデザインや、身近で多様なトピックを活かすことに加えて、自分事として捉えやすいキャッチーな見出しを考える(「"みんなしてる"って理由でOK? 心の声、聴いてみた?」、「性って恥ずかしいもの?」など)、キャプションの最初の文を挨拶から見出しに変更する、ハッシュタグに身近なワードを入れる(#学生 #夫婦 #結婚 など)、投稿を作成した人の名前をつけて中の人に見える化を図る、時事トピックをストーリーからフィード投稿に変更する、独自ネタを発信する(調査の紹介やユースの意見の発信など)ということを行いました。その結果、昨年度は約800人だったフォロワー数が今年度は約1200人となり、ユース・グループを知ってもらう機会を作ることができました。

### ○月別トピックの投稿



○時事トピックの投稿



○イベントの開催告知・報告



○国際デー等に合わせた投稿



## 4.3. 外部ユース向け勉強会

- ・第1回プラン・ユースグループ主催オンラインイベント「さっこ先生に聞く！包括的性教育とは？」を開催(11/19)
- ・令和5年度男女共同参画推進フォーラムで「話してみよう！『生理』のこと」を開催(12/2)
- ・第2回プラン・ユースグループ主催オンラインイベント「痴漢抑止バッジデザインコンテスト主催者と考える痴漢抑止」を開催(12/17)
- ・第3回プラン・ユースグループ主催オンラインイベント「かずえちゃんと考えよう性の多様性と、これから」を開催(1/21)

・第4回プラン・ユースグループ主催オンラインイベント「ジェンダー視点から見たパートナーシップ～対等な関係を築くためには？～」を開催(2/21)

・プラン・ユースグループ主催「アルテイシアさんと一緒にもやもや燃やそう！」のハイブリッドイベントを開催(5/18)



## 4.4. その他の活動

- プラン名古屋の会(支援者の会)と共同で、愛知サマーセミナー2023(2023年7月実施)にて、日常の様々なメディア広告で感じるジェンダー不平等に関してワークショップを実施。



- 40周年に合わせて、ユースグループが実施した「ルッキズム(外見至上主義)」に関する調査報告書をもとに、オンラインイベントを開催。【9月10日】



- SRHRスタンディングアクションにスピーカーとして登壇し、SRHRに関する理解を広めることを政府や教育関係者に要望した。【9月27日】



- 「ガールズ・リーダーシップ」に関する院内集会に参加し、包括的性教育の重要性を訴えた。【10月10日】



- ジェンダー課題に関する短歌「ジェンダー短歌」を作成しInstagramで公開した。【9月～11月】

